

報道関係者 各位

2024年9月26日
日本工営株式会社
株式会社福山コンサルタント
株式会社ケー・シー・エス
株式会社マクニカ

温泉観光地にて初の夜間運行を含む自動運転 EV バスの公道走行実証実験を実施

～社会実装に向けて安全対策や経済波及効果を検証～

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦）は、株式会社FCホールディングスの子会社である株式会社福山コンサルタント、株式会社ケー・シー・エス、株式会社マクニカ、佐賀県嬉野市と共同で、昨年引き続き、地域との共創による自動運転車両の公道走行実証実験（自動運転レベル2^{※1}）を実施し、社会実装に向けての最終段階として安全対策や経済波及効果等を検証します。

1. 事業の概要

日本工営株式会社、株式会社福山コンサルタント、株式会社ケー・シー・エスの3社で組成するJVは、内閣府の未来技術社会実装事業に選定された「嬉野市未来技術地域実装事業」の運營業務を佐賀県嬉野市から令和3年度より受託しています。

本事業は、「来訪者の移動を支えるモビリティサービス」をテーマに、株式会社マクニカが提供する自動運転EVバス^{※2}を活用し、観光まちづくりにおける「地域共創のシンボル」として地域実装を目指すものです。

令和5年度には、佐賀県で初となる自動運転EVバスの公道走行実証実験を実施しました。遠隔監視システム^{※3}の活用により運行上の課題を明らかにするとともに、利用者へのアンケート調査により社会受容性等を把握しました。

令和6年度は、令和5年度の実験で得られた課題について、地域との対話を進め、解決策を見出しながら、社会実装時のサービス形態やビジネスモデルを見据えた実証実験を実施します。利用者ニーズや夜間運行の必要性、安全対策、収益性、経済波及効果等について検証を行います。

※写真は昨年度のもので
自動運転EVバス運行の様子※写真は昨年度のもので
夜間運行時の走行環境イメージ

2. 公道走行実証実験の概要

- 運行期間 2024年10月5日(土)～10月28日(月)のうち20日間
※10月16日(水)、17日(木)、23日(水)、24日(木)は運休
- 運行時間 9時台～16時台（1日6便）
※運行期間中の金曜日と土曜日（10月5日(土)除く）は夜間便（2便）を運行
- 自動運転車両 自動運転EVバスNavya ARMA
- 自動運転レベル 自動運転レベル2で走行
- 走行ルート 嬉野温泉駅と温泉街を循環するルート
- 料金 無料
- 乗車方法 一般の路線バス等と同様、専用の「停留所」にて乗降（予約不要）
※乗車定員は8名です。満席時は乗車頂けません。
- 運行ダイヤ 運行期間中は以下の時間帯に運行します。夜間の走行も試行します。



公道走行実証実験 運行ルート

公道走行実証実験 運行ダイヤ

停留所	日中運行						夜間運行 (金・土のみ)	
	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便
A 嬉野温泉駅 (出発時刻)	9:40	10:55	12:45	13:45	15:45	16:45	19:25	21:00
B 福田病院前 (バスセンター方面)	9:45	11:00	12:50	13:50	15:50	16:50	19:30	21:05
C 和多屋別荘前	9:57	11:12	13:02	14:02	16:02	17:02	19:42	21:17
D 嬉野交流センター	10:03	11:18	13:08	14:08	16:08	17:08	19:48	21:23
E 嬉野温泉 バスセンター	10:10	11:25	13:15	14:15	16:15	17:15	19:55	21:30
F 萬象閣敷島前	10:16	11:31	13:21	14:21	16:21	17:21	20:01	21:36
G 和楽園前	10:22	11:37	13:27	14:27	16:27	17:27	20:07	21:42
H 福田病院前 (駅方面)	10:30	11:45	13:35	14:35	16:35	17:35	20:15	21:50
A 嬉野温泉駅 (到着時刻)	10:34	11:49	13:39	14:39	16:39	17:39	20:19	21:54

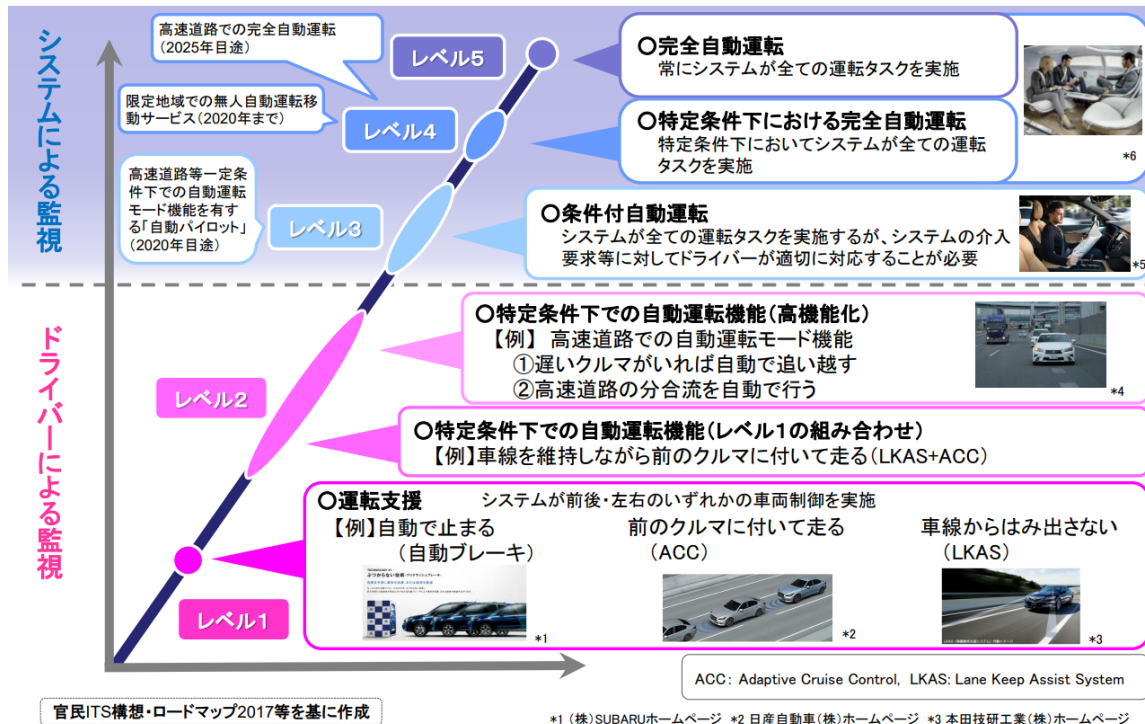
3. 公道走行実証実験の詳細

実証実験の詳細については、嬉野市のホームページをご覧ください。

https://www.city.ureshino.lg.jp/shisei/keikaku/_28638/_30135.html

※1 自動運転のレベル分けについて

令和6年度の実証は自動運転レベル2で実施します。自動運転レベル2とは、ドライバーによる監視下で、アクセル・ブレーキ操作またはハンドル操作の両方を部分的に行うもの。



出典：国土交通省資料

※2 自動運転EVバスNavya ARMA

ARMAは自動運転EVシステムを搭載した自動運転シャトルバスです。EV（電気自動車）仕様となり、1回の充電で約9時間（100km）の自動走行が可能です。

全長：4,750mm

全高：2,650mm

全幅：2,110mm

重量：2,400kg

車両総重量：3,450kg

乗客定員：15名(着座11名、立席4名)

※実証実験期間中は安全性確保のため定員着座8名(乗務員1名を除く)で運行

動力源：電動モーター

最高速度：18km/h（運行時は平均速度10km/h程度）

自動運転レベル：レベル3相当

※実証実験期間中はレベル2で走行

その他：緊急時は同乗のドライバーが手動介入



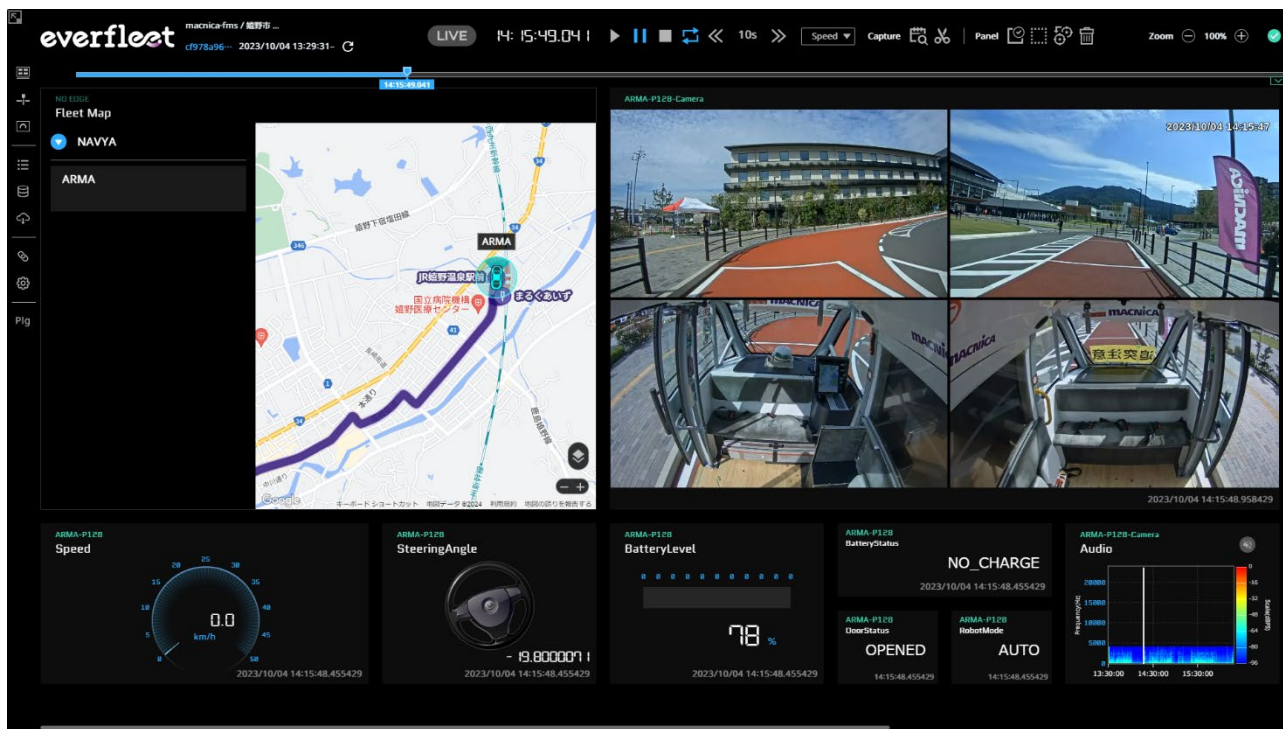
本実証実験にて使用する自動運転EVバスの車両は、株式会社マクニカと芙蓉総合リース株式会社及び芙蓉オートリース株式会社が共同で構築した「自動運転実証実験支援サービスプログラム」により提供します。自動運転実証実験支援サービスプログラムの詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/>

※3 遠隔監視システム（マクニカ製everfleet）

everfleet

自動運転を実用化するためには、車室内の乗客や車両周辺の状況を遠隔地からモニタリングすることが求められます。everfleet（エバーフリート）ではモビリティの位置情報や車内外のカメラ映像に加え、車速・ステアリング・バッテリー残量等の車両データを統合して一元的に可視化し、信号機等の交通インフラと協調した外部データとの連携も可能です。これにより、運行状況を遠隔地からリアルタイムに把握し、安全・安心に自動運転モビリティを運用することができるようになります。さらに、複数地域の多種多様なモビリティを同時に群管理することや運行時の異常をシステムによって自動的に検出・通知することができるため、1人の遠隔オペレータによって、効率よく自動運転モビリティを運行管理することで、オペレーションの省人化を実現し、交通採算性の改善にも貢献します。



本件に関するお問い合わせ先

本実証実験に関するお問合せ先

日本工営株式会社 福岡支店 交通都市部

E-mail : ml-nk-ureshino-mirai@dx.n-koei.co.jp

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 E-mail : c-com@n-koei.co.jp